

動物医療費のご支援についてのご報告とお礼

令和6年12月

総額 63,711 円

内訳: オンラインショップ等 62,000 円
募金箱 1,711 円

たくさんのご支援をいただき、ありがとうございました!

今月の動物医療費

医薬材料費…お薬、点滴、ワクチン・駆虫薬・消毒剤・サプリメント・麻酔薬・検査薬・消耗品など

検査委託費…血液検査などの各種検査・病理組織検査・外部機関への検査依頼費(CT・MRI・内視鏡など)

医薬材料費 合計 ¥442,477 円(税込)

【購入品(一部)】

- ゾウのメス“マオ”の整腸剤
- 保護されたニホンカモシカの貧血治療薬
- ピューマのオス“タフ”の整腸剤
- ヤギのメス“おと”の消毒・保湿剤
- ラマのオス“アオイ”の蠕動亢進薬
- タヌキのオス“マル”やカナダカワウソのメス“カエデ”のグルコサミン
- アメリカバイソンのメス“アメリ”やニホンイノシシのオス“ひろき”・メス“やよい”、ロバのオス“ドン”の関節サプリ
- ヤギのオス“りく”の整体施術費用
- 他に、血液検査消耗品、注射針、注射器、抗生剤、消炎鎮痛剤など

検査委託費 合計 ¥94,864 円(税込)

【検査内容】

- ニホンイノシシのメス“とき”、アフリカゾウのメス“マオ”、保護されたニホンカモシカなどの血液検査
- 保護されたニホンカモシカ、アカカンガルーのオス“ピースケ”、トウホクノウサギのメス“No. 235”、アフリカゾウのメス“マオ”、ニホンイヌワシのオス“翁”、ニホンキジのメス“きいちゃん”の細菌培養検査
- その他ウイルス検査など

盛岡市動物公園 ZOOMO では、日々動物たちの医療環境の向上を目指しています。動物たちの検査や治療にはお金がかかりますが、近年では動物医療費が年間約 280~380 万円かかっています。現状では、年により 60~160 万円の医療費が不足しています(キリンやゾウなどの大型動物の診療数で年間の診療費は大きくかわります)。そのため、令和2年より動物医療費のご支援をお願いしたところ、これまでにたくさんのご支援をいただき、手数料を除く全額を動物たちの医療のために使わせていただいております。動物医療費が充実したことで、これまで以上に治療の選択肢が広がったことを実感しております。ご支援くださったみなさまには改めて感謝申し上げますとともに、さらなる医療環境の向上のため、引き続きご支援をお願い申し上げます。

病院チーム 松原ゆき・滝本明佳・早川温子・辻本恒徳